



【何を感じた?!】「防災講話」を聞いて

こんにちは。

岐阜県立大垣南高等学校長の

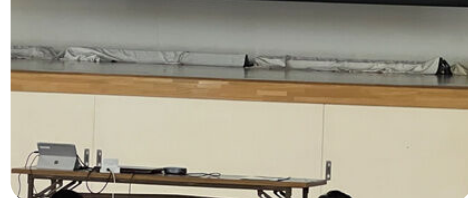
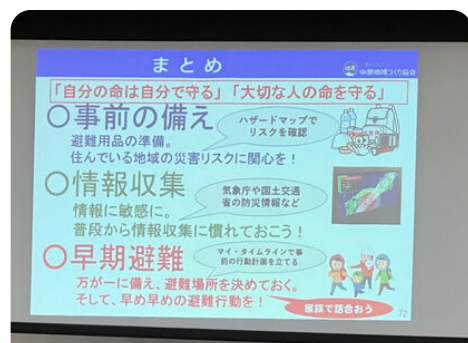
種田 昭彦（おいだ あきひこ）です。

本日のホームルームの時間を利用して、第1学年の生徒の皆さんを対象に「防災講話」を実施しました。

今回の講話は【話と映像】に加えて、現代ならではの技術【VRとAI】を活用して、各クラスの代表生徒が「VRによる浸水擬似体験」や「AI語り部との対話体験」を行いました。

「災害」は【いつ】【どこで】起こるのか誰にも分かりません。それだけに、本日の講話を通じて「他の地域で起こっている災害を自分事として捉えること」が大切です。

文 大垣南高等学校長の
種田昭彦（おいだ あきひこ）



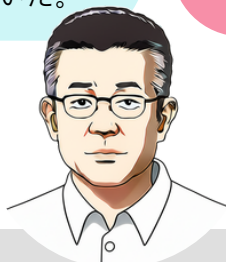
ちなみに、私は本日の講話でたびたび話題となっていた【9. 12 豪雨災害（昭和51年、安八町）】を経験しました。

休日で家族と過ごしていた午前中。長良川の堤防決壊のサイレン。私は当時10歳。親の言われるがままに車に乗り込み、揖斐川の堤防に避難。

多くの車がすでに避難していて揖斐川の堤防は車の列。車の窓から外を見ると家屋がどんどん浸水。この時からしばらくは車中泊。救援物資として届けられる菓子パンやおにぎりの生活が続きました。

水が引いた後は、逃げる術などない家畜などがあちこちに。何とも言えない匂いが漂っていた。

9. 12 水害は岐阜県のホームページでも当時の写真と様子をまとめたサイトがあります。
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/6965.html>



岐阜県立大垣南高等学校

言うなかれ本日学ばずとも来日ありと

〒503-8522 岐阜県大垣市浅中2丁目69番地

☎ 0584-89-2331

🌐 <https://school.gifu-net.ed.jp/ogkminami-hs/nanko/>